

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

「細胞診検査報告書」報告様式変更のお知らせ (ベセスダシステム併記)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、弊社では細胞診検査報告書の仕様を別掲の通り変更させて頂きますので、取り急ぎご案内申し上げます。

宜しくご了承を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

対象報告書

- 細胞診検査報告書

実施期日

- 平成22年6月1日(火) 受付日分より

細胞診検査報告書

子宮頸部細胞診検査報告様式はわが国では日本産婦人科医会によるパパニコロウ分類(日母分類/クラス分類)が使用されておりました。しかし、平成20年12月に同医会より「ベセスダシステム2001準拠子宮頸部細胞診報告様式理解のために」と題した解説冊子が発行され、報告様式の改定が推奨されました。

ベセスダシステム2001は子宮頸部細胞診検査の精度管理および標準統一化を目的として制定され、標本の適否を明確に示すことと、クラス分類ではなく推定病変を記述的に記載することが重要と考えられています。また、子宮頸癌発症におけるHPV(ヒトパピローマウイルス)関与のエビデンスも取り入れられています。

平成22年4月の診療報酬改定によりHPV核酸同定検査が新規保険収載されましたが、算定に当たっては子宮頸部細胞診の結果がベセスダ分類で報告されている必要があり、ベセスダ分類の重要性が高まりつつあります。

弊社ではこの改定に則り、従来の報告様式(パパニコロウ分類)にベセスダ分類を併記し、ご報告させていただきます。

【報告書見本】

細胞診検査報告書 (品川 S/O)		ID1	900018
013 - 008	015132 三菱化学〇〇総合病院	様	報告日 2010年〇月〇日 受付日 2010年〇月〇日
患者名 ミツビシ ハナコ 様	提出医: 科名: 婦人 外来 病棟:	検査番号 G10000002-1	材料 子宮頸部
性別: 女 年齢: 31 生年月日:	カルテ施 患者ID	採取日 2010年〇月〇日	
腫部びらん 臨床診断 1. 正置所見: 扁平上皮 円柱上皮 移行帯 2. 異常所見: 白色上皮 コルポスコピー 3. 浸潤所見 4. 不透明 5. その他の特徴所見: コンジローマ びらん 炎症 癌腫等			
最終月経 21年9月24日(35日型) 不整		妊娠 週	
閉経 才 分娩 回 最終分娩 年月		妊娠 回	
性ホルモン剤 未使用・使用中(注・錠・局所)		異常妊娠	
卵胞 黄体 混合(卵胞+黄体) 男性 男女混合		有・無	
臨床経過			
放射線療法: 有(年 月)・無 抗がん剤使用: 有(年 月)・無			
標本の種類	直接塗抹法		
標本の適否	適正(子宮内頸部/移行帯細胞が見られます。)		
判定・診断	疑陽性: Class IIIa LSIL 扁平上皮細胞 移行内頸上皮細胞: 2+ 好酸球 紅細胞 中層細胞: 1+ 体内頸上皮細胞 好塩基球 単核球 桿状核細胞: 少 好中球: 1+ シンク球		
細胞診断 表層型細胞に核異型、クロマチンの増量を示す異型細胞を認めます。(mild dysplasia/CIN1)			
細胞検査士: 検査士1 サイン	検査士2 サイン	細胞診専門医: サイン	細胞診専門医

【標本の種類】

【標本の適否】

適正・不適正を記載します。

<不適正標本の例>

- ・検体にラベルがない場合
- ・スライドが破損している場合
- ・鮮明に見える扁平上皮細胞が直接塗抹法では8,000~12,000個(液状検体法では5,000個)に満たない場合
- ・扁平上皮細胞の75%以上に細胞質が見られない場合
- ・血液などで不明瞭になっている場合

【判定】

パパニコロウ分類による判定・診断結果を記載します。

【判定】

ベセスダ分類による判定・診断結果を記載します。

参考資料

ベセスダシステム	略語	推定される病理診断	クラス分類 (パピニコウ分類)	運用	
陰性	NILM	炎症・微生物非腫瘍性所見	I, II	異常なし：定期検査	
扁平上皮系	意義不明な異型扁平上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い	II-IIIa	要精密検査： ①HPV検査による判定が望ましい ・陰性：1年後に細胞診、HPV併用検査 ・陽性：コルポ、生検 ②HPV検査非施行 6ヶ月以内細胞診再検査
	HSILを除外できない異型扁平上皮細胞	ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い	IIIa, IIIb	要精密検査：コルポ、生検
	軽度扁平上皮内病変	LSIL	HPV感染 軽度異形成	IIIa	
	高度扁平上皮内病変	HSIL	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌	IIIa IIIb IV	
	扁平上皮癌	SCC	扁平上皮癌	V	
腺癌系	異型腺細胞	AGC	腺異型または腺癌疑い	III	要精密検査： コルポ、生検、頸管および内膜細胞診または組織診
	上皮内腺癌	AIS	上皮内腺癌	IV	
	腺癌	Adenocarcinoma	腺癌	V	
	その他の悪性腫瘍	Other malign.	その他の悪性腫瘍	V	要精密検査：病変検索

参考文献

社団法人日本産婦人科医会：ベセスダシステム2001準拋子宮頸部細胞診報告様式の理解のために平成20年12月